大阪ガス本社・支社所在地および電話番号

本社・ガスビル サービスセンター	〒541	大阪市東区平野町5丁目1	☎大阪 06(202)2221
南支社	〒557	大阪市西成区玉出東2丁目9番41号	☎大阪 06(652)0001
北支社	〒532	大阪市淀川区十三本町3丁目5番35号	☎大阪 06(301)1251
堺支社	〒590	堺市住吉橋町2丁2番19号	☎堺 0722(38)1131
北摂支社	〒569	高槻市藤の里39番6号	☎高槻 0726(71)0361
阪神支社	〒662	西宮市和上町4番11号	☎西宮 0798(26)3101
東部支社	〒578	東大阪市稲葉2丁目3番17号	☎河内 0729(62)1131
京阪支社	〒573	枚方市西田宮町16番17号	☎枚方 0720(41)1251
神戸支社	〒650	神戸市中央区相生町5丁目13番10号	☎神戸 078(576)5231
京都支社	〒604	京都市中京区烏丸御池梅屋町358	☎京都 075(231)8151
奈良支社	〒631	奈良市学園北2丁目4番1号	☎奈良 0742(44)1111
和歌山支社	〒640	和歌山市本町1丁目1	☎和歌山 0734(31)2481
姫路支社	〒670	姫路市神屋町4丁目8	☎姫路 0792(85)2221
東播支社	〒675	加古川市加古川町粟津29−1	☎加古川 0794(21)1801
豊岡支社	〒668	豊岡市三坂町6丁目57番地	☎豊岡 07962(3)2221
湖南支社	〒525	草津市追分町字荒堀680の1	☎草津 0775(62)5311
彦根支社	〒522	彦根市大東町12番11号	☎彦根 0749(22)3131
(長浜営業所	〒526	長浜市南呉服町3番4号	☎長浜 07496(2)7171)

その他当社サービスステーション、およびサービスショップ

大阪ガス株式会社

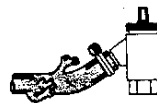
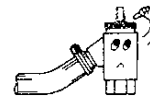
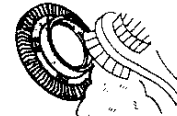
830900

ガステーブルコンロ
取扱説明書

10-290型

保証書付

型式名 RT-3GHD-2E

ガス器具をお使いになるときのご注意

ガスゴム管もときどき点検よいゴム管をガッチリと

ガス器具をお使いになったあとは必ずもとコックも閉める習慣を

毎日使うガスコンロのバーナーなど器具もときどきお手入れを

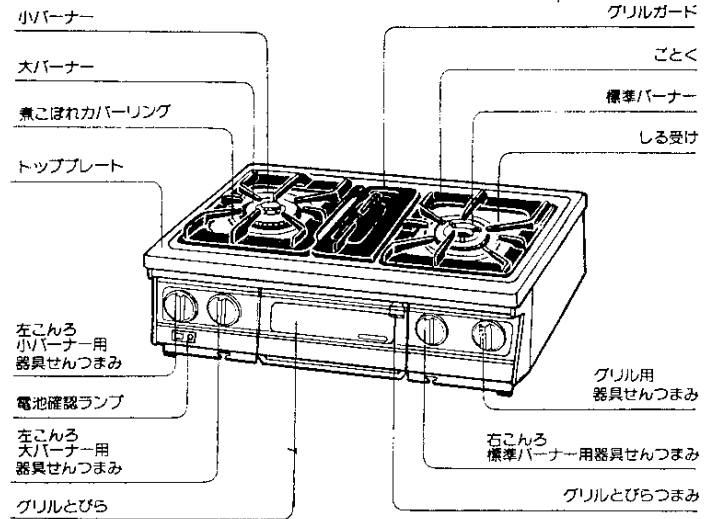
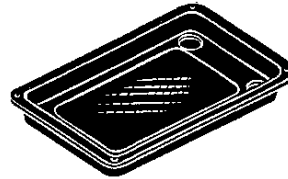
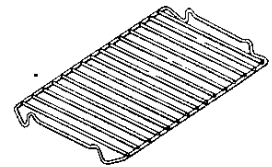
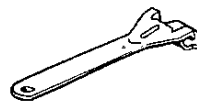
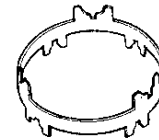
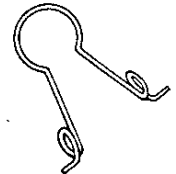
ガス器具はガスの種類にあった正しいものを

● ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合せください。

ごあいさつ

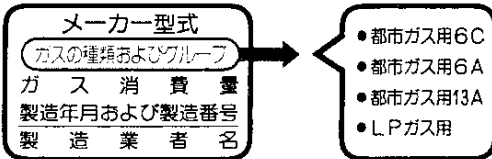
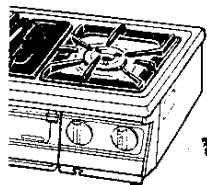
このたびは、大阪ガスのガステーブルコンロをお求めいただきありがとうございました。
別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保存してください。

もくじ

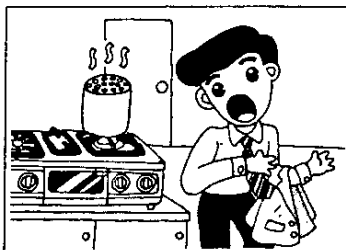
各部の名称

特に注意していただきたいこと

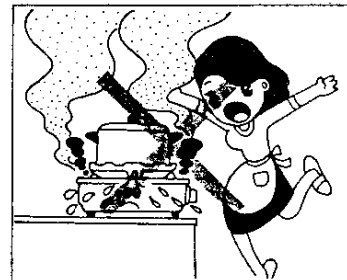
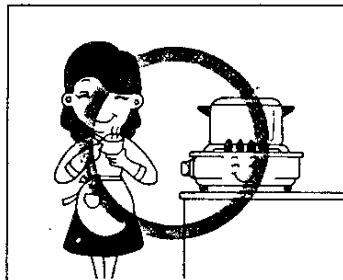
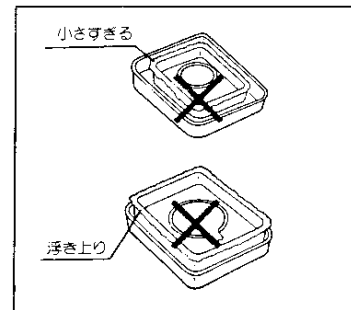
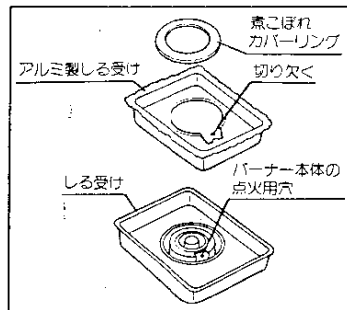
安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

使用ガスについてのご注意

●ガスの種類を確かめてください。
ガス器具本体の右側面にはってある銘板(ラベル)に表示のガスの種類とお宅のガスが一致しているかをまず確かめてください。

●ガスの種類には都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。
●転宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

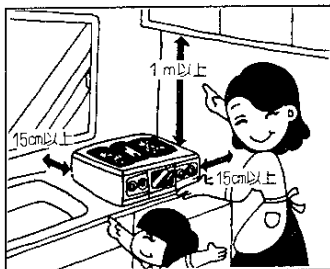
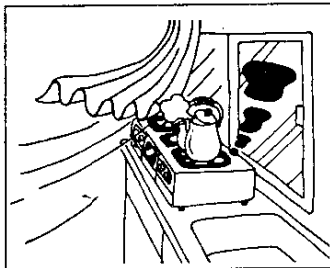
用途についてのご注意

●調理以外の用途（炭・練炭おこし・衣類の乾燥など）には使用しないでください。
過熱・異常燃焼などによる焼損・火災などの危険があります。

市販の補助用具使用についてのご注意

●極端に大きな鉄板やなべ、熱を逃がさないようにするためのなべ枠、または不良の補助用具などで炎をふさいで使うことはさけてください。
不完全燃焼をおこしたり、器具を異常に過熱し危険です。

●しる受けの上に市販のアルミはく製しる受けを敷いてお使いになる場合は、しる受けに十分なじむようにしてお使いください。
●アルミはく製しる受けの穴は煮こぼれカバーリングの穴より少し大きめにあけてください。
●アルミはく製しる受けを敷いた上から煮こぼれカバーリングを取りつけてください。
●バーナーの手前側にあいている穴は点火用の穴ですから、アルミはくの端などで絶対にふさがないようにしてください。点火不良の原因になります。

特に注意していただきたいこと③

使用場所についてのご注意

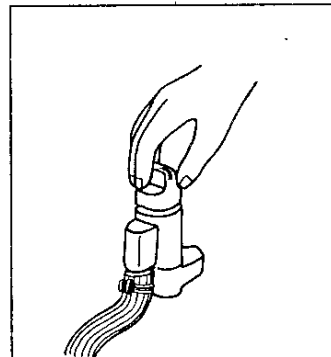
- 強い風の吹き込む所では使用しないでください。
  炎が風で吹き消えることがあります。
- カーテンや、燃えやすいものの近くでは使用しないでください。
  燃え移る危険があります。
- たなの下など、落下物の危険のあるところでは使用しないでください。

- テーブルコンロの周囲が木材のような可燃性の壁面の場合は、過熱を防ぐため左右及び後面ともに15cm以上、上方は１ｍ以上離してお使いください。
- 上記の距離がとれない場合は、必ず別売の防熱板を取りつけてください。
  壁が長期間加熱されると比較的低温でも自然発火することがあります。

使用上のご注意

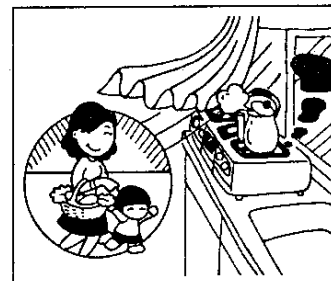
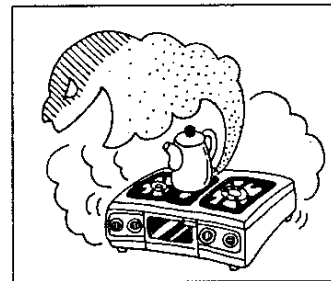
ガス漏れ予防

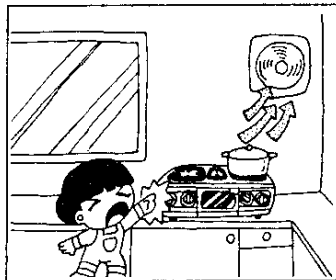
- ゴム管はガス用ゴム管を使用し、ビニール管は絶対に使用しないでください。
  ビニール管は弾力性がなく、熱にも強くありません。
- ゴム管は良質のものを用い、ときどきとりかえてください。（おとりかえの目安は約３年です）
  ゴム管が古くなりますと、ガス元せんや器具のホースエンドから抜けやすくなったり、ヒビ割れしてガス漏れの原因になり危険です。

特に注意していただきたいこと④　使用上のご注意

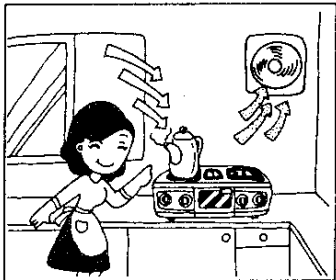
- 器具をご使用にならないときや外出前、またおやすみ前には万一の事故がないように、必ずガス元せんを閉めてください。
- 使用中は決して外出しないでください。
  バーナーの火が風や煮こぼれで消えたりカラ焚きになるなど思わぬ事故の原因になります。
- 使用後は必ず器具せんを閉じ、消火したことを確かめてください。
- 使用中はときどき正常に燃焼していることを確かめてください。

火災予防

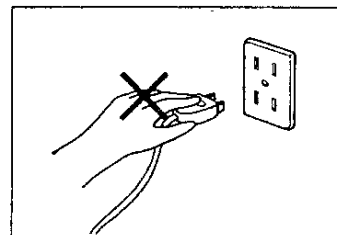
- グリル使用中、グリル排気口の上に物をのせないでください。
  不完全燃焼や異常過熱の原因になります。
- 器具の上やそばに燃えやすいもの（紙、カーテン、家具、揮発油など）を絶対におおいたり近づけたりしないようにしてください。

- 火をつけたまま就寝、外出は絶対にしないでください。
- 天ぷらなど油料理の場合は、火をつけたまま場所を離れたり、加熱しすぎないようにしてください。
  温度が上りすぎると、油が自然発火し、火災の原因となります。

やけどのご注意

- ご使用中および使用直後は、器具本体とその周辺は熱くなりますので、手を触れたりしないでください。特に小さなお子様がいるご家庭はご注意ください。
  またグリルをお使いになるときは、排気口から高温の排気熱が出ますので、顔などを近づけないでください。

- ご使用中グリル水入れざらを出し入れされるときは、必ず付属のグリル用とってをお使いください。
  ぬれふきんなどで持つとやけどするおそれがあります。

換気のご注意

- ご使用と同時に換気扇を回すなど換気にご注意ください。
  ガスが正しく燃えるためには、ガスの6～10倍もの空気が必要です。しめきった部屋で長時間使用すると空気中の酸素が減少し、不完全燃焼による一酸化炭素中毒の危険があります。

ガス事故防止

- ガス漏れに気づいたときは、すぐ使用をやめてガス元せんを閉じ、窓や戸を全部あけて、大阪ガス支社または大阪ガスサービスステーションに連絡してください。

〈ご注意〉
万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり換気扇その他の電気器具にふれたりしないでください。（スイッチの入・切や電源プラグの抜き差し等）火や火花で引火し爆発事故を起こすことがあります。

異常時の処置

- ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときはそのままお使いにならず、直ちにご使用を中止（器具せん、ガス元せん閉止）して十分な点検をお願いします。
  〔故障・異常の見分け方と処置方法については20ページをお読みください〕

日常の点検・手入れ

- 器具を安全、快適にお使いいただくために、日常の点検、手入れは必ず行なってください。（詳しくは17ページをお読みください）

- 故障又は破損したと思われるものは使用しないでください。不完全な修理は危険です。

- 万一具合が悪くなって処置に困るような場合は、大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社にご連絡ください。

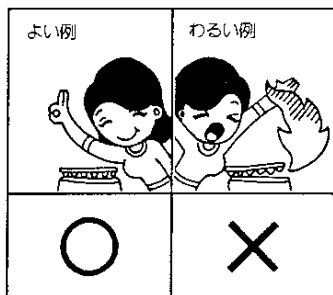
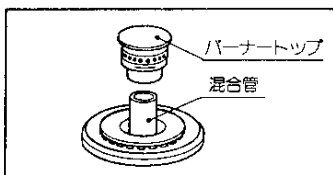
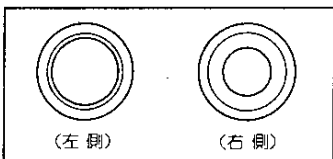
器具の設置

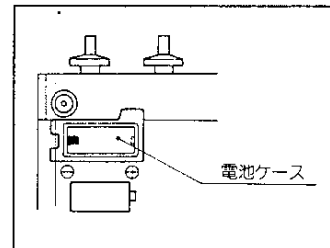
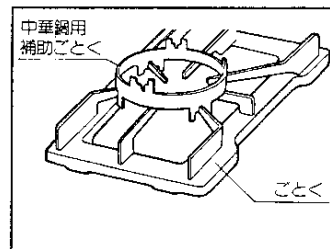
設置前の準備と確認

- 各部分のあて紙や包装部品を取り除き、〝各部の名称〟のように正しく組立ててください。
- 器具銘板の表示ガス(ガスグループ)とご使用になるガスとが一致しているかご確認ください。

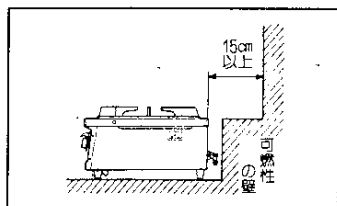
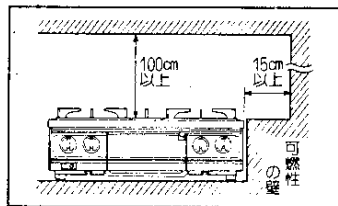
部品の取り付け

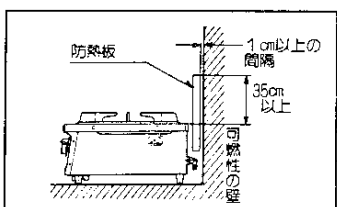
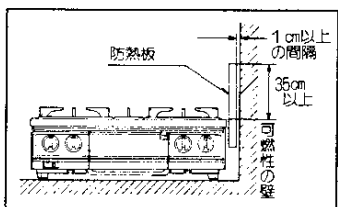
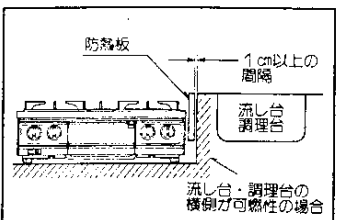
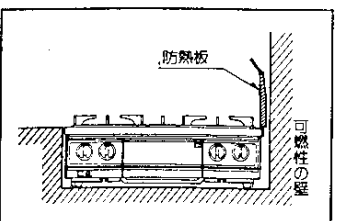
- バーナートップはギザギザが下になるようにはめ込んでください。またバーナー本体より浮き上らないように2〜3回バーナートップを回して確実にはまっているか確認してください。

〈ご注意〉
バーナートップは左外側に大バーナー、左内側に小バーナー、右に標準バーナーとなっていますので間違いのないように取りつけてください。

- 小バーナーの取り付けは左こんろ中央部にある混合管へ差し込んでください。そのとき他のバーナートップと同様に、浮き上らないように2〜3回回して確実にはまっているか確認してください。

- 煮こぼれカバーリングもバーナートップと同様、左右異なります。内径の大きい方が左側、小さい方が右側です。正しくはめ込んでください。

- 点火用の電池は電池ケース(器具下部の左前にあります)にはめ込んでください。電池は単1(1.5V)1個使用です。

〈ご注意〉
- 電池が正しくセットしてあり、電池が消耗していない場合は点火操作時に電池確認ランプが明るく光ります。
- 電池確認ランプが点滅したり光らなくなったら電池が消耗していますので点火しにくくなります。新しい電池におとりかえください。

- 付属の中華鍋用補助ごとくは中華鍋を用いて料理されるとき、鍋の安定性を良くするために、ごとくの上にのせてお使いください。ごとくにのせてから確実に固定されているか確認してください。
爪が4本ある方が下側になります。
調理台の上に底の丸い鍋をおくときの鍋敷きとしても使用できます。

設置上のご注意

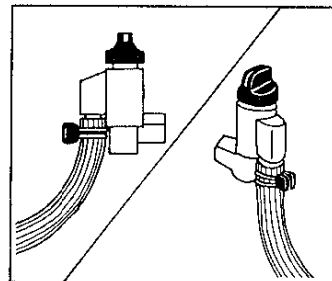
- 丈夫で水平なガス台上に設置してください。
- 耐久性などの点からできるだけ湿気の少ないところを選んでください。
- **周囲に可燃物(木製の壁、たななど)のある場合**
- トッププレートより上の側面及び背面は木製のような可燃性の壁から15cm以上離してください。可燃性の壁にステンレス板などを張ってある場合も同様です。また上部は器体上面から100cm以上離して使用してください。
(火災予防条例で定められております)

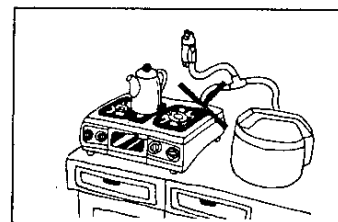
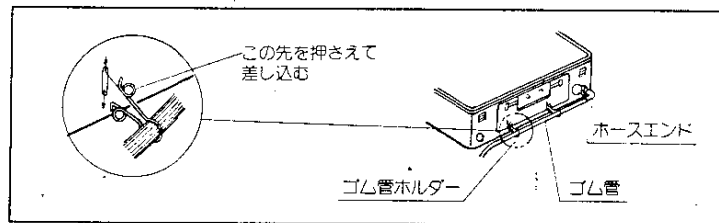
器具の設置③

● 可燃性の壁(ステンレス板などを張りつけた可燃性の壁も含む)から15cm以上離して設置できない場合

• 図のように必ず別売の防熱板を取り付けて使用してください。(15-100-0084-8)

● 可燃性の壁面の高さが35cm以下の場合は図のように取り付けてください。

● 60cm幅のガス台に設置されている場合は、次のように取り付けてください。（別売防熱板15-100-0089）

器具の設置④

ゴム管の接続

● ゴム管は赤線まで差し込んでしっかりと止めてください。9.5mmφ（内径9.5mm）のゴム管を使用し、ガス元せん・器具のホースエンドともホースエンドの赤線まで十分差し込んで、ゴム管止めでしっかり止めてください。

ゴム管止めでしっかり止めていないと、知らずにはずれかかってガス漏れが生じることがあり危険です。

• ゴム管はガス用ゴム管を用い、折れたりねじれたりしないよう、できるだけ短かくし、また器具の下を通したり、器具に触れないようにしてご使用ください。

• ゴム管の継ぎたしおよび二叉分岐はしないでください。

• ゴム管が器具後部を横切る場合は、付属のゴム管ホルダーにゴム管を通し、図のように器体後部の穴に差し込んで固定してください。

使用手順

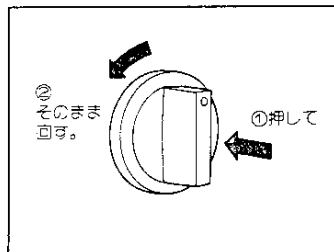
はじめてお使いのとき

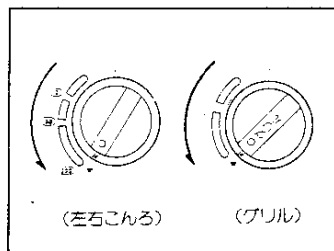
- はじめてお使いになるときは、必ずグリル水入れざらに水を入れ、換気をしながら12〜15分のから焼きをしてください。油を焼ききるためで、煙が出ても異常ではありません。

点火前の準備と確認

- 器具の近くに紙、プラスチック、油類など燃えやすいものが置いていないことを確認してください。
- 器具せんつまみが「止」の位置にあることを確認したのち、ガス元せんを全開にしてください。
- グリルをお使いになるときは、グリル水入れざらに水(コップ1杯強 約200cc)を入れてください。

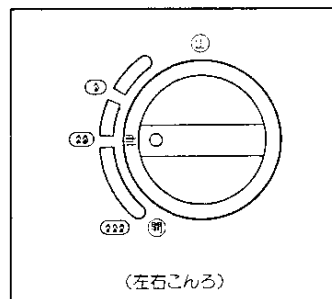
点　火(こんろ部・グリル部)

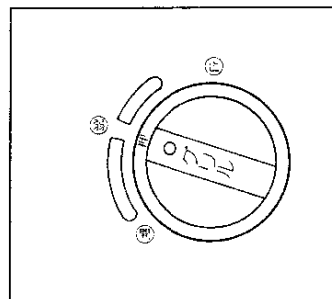
(左右こんろ)　(グリル)

- 器具せんつまみを押して左(開の方向)へいっぱいに回してください。電池確認ランプがついて「パチパチ」とスパークして点火します。
- 点火を確かめてから手をはなしてください。(途中で手を休めると点火しないことがあります)

〈ご注意〉
- 万一点火しないときは、器具せんつまみを一旦もとに戻して、あらためて点火の操作をしてください。
- しばらく使わないで点火するときはゴム管内に空気が入って点火しにくいことがあります。この場合は空気が抜けるまで数回点火操作を繰り返してください。
- グリル点火時は必ずグリルとびらをあけて点火してください。
- グリル使用時は、グリルバーナーに点火していることを必ずご確認ください。

空気調節

- 空気調節の必要のない構造になっております。点火したらそのまま お使いください。

火力調節

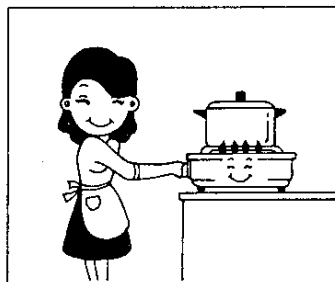
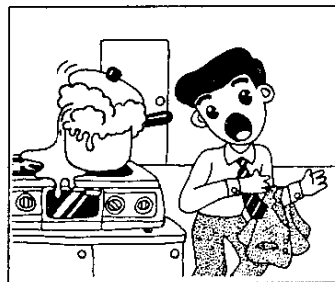
(左右こんろ)

- **こんろ部(左右)**
  - 火力切り替え式の器具せんにより、火力の調節が容易にできます。(△△△)が「全開」(△△)が「中火」 (△)が「小火」になっています。(△△△)位置より (△△)、(△)の位置にするときは、それぞれの位置で「カチッ」と音がして軽く止まります。
  - 火力マークの中間でも使用できます。

〈ご注意〉
- (△)と(止)の間で使用するときは炎が小さく消えやすくなりますのでご注意ください。
- (△)から(△△)の位置にするときは、一旦(△△△)の位置まで回してから(△△)の位置に戻してください。
- (△△△)から(△)の位置にするときは器具せんつまみをゆっくり回してください。

- **グリル部**
  - グリルは(開)または(弱)の位置でお使いください。(弱)の位置では「カチッ」と音がして軽く止まります。

〈ご注意〉
- (弱)と(止)の間では使用しないでください。消火や不完全燃焼の原因になります。

使用時のご注意

- 煮こぼれはバーナーや器具を早くいためますのでご注意ください。(一度煮立ったら、沸騰がつづく程度の火力にしてご使用ください)
  煮こぼれしたときは、必ず完全にふきとってください。
  煮こぼれで炎口がつまると炎が逆流して、器具の内部で燃えるおそれがあり危険です。

- 点火の際は、こんろになべやヤカンをかけて点火し、全部の炎口に点火したことを確かめてください。

- グリル使用中、グリル排気口の上に物をのせないでください。
  不完全燃焼や異常過熱の原因になります。
- 炎の形や色の変化に気をつけてください。炎が異常に大きかったり、ふぞろいで音をたてたりすることがないようによく見てご使用ください。

日常の点検・手入れ

点検・手入れの際のご注意

- 点検・手入れについては、下記の日常の点検以外は大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社に依頼してください。
- 点検で異常を見つけられたときは、大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社に修理を依頼してください。
- 点検・手入れの前には必ずガス元せんを閉じ、器具が冷えてから行なってください。

点　検

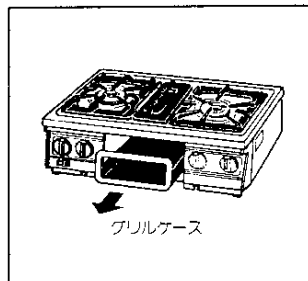
●安全にお使いいただくためにときどき点検してください。

- ゴム管はガス用ゴム管を使用し、器具およびガス元せんともホースエンドの赤線まで十分差し込み、ゴム管止めで止めてありますか。
- ゴム管が器具に触れたり、折れたり、ねじれたりしていませんか。
- ゴム管が古くなって、ひび割れしたり、差し込み口がゆるんでいるためにガスが漏れていないかときどき石けん水などで点検してください。
- 器具の近くに、紙・プラスチック・油類など燃えやすいものを置いていませんか。
- バーナートップ、ごとく、しる受け、煮こぼれカバーリングなどが正しくセットされていますか。
- バーナートップの炎口が煮こぼれなどで詰っていませんか。
- グリル水入れざらに多量の脂がたまっていませんか。(脂がたまったまま使用しますと脂が燃えることがあります)

お手入れ

そのつど

●ごとく・しる受け・煮こぼれカバーリング・トッププレート・器体・グリル水入れざら・グリル焼網・グリルケース

・そのつどお手入れしていただくのがいちばんです。煮こぼれなどの汚れは湿った布でふきとってください。液状の洗剤を布にふくませて汚れを落としたり(器体の場合)、洗剤をふくませたナイロンたわしで洗っていただき(器体を除く場合)、お手入れ後はよくしぼった布で洗剤や水気を十分ふきとってください。

グリルケース

なお、グリルケースは簡単に引き出すことができます。(取り出す時は前の方を少し持ち上げて引き出してください)

〈ご注意〉
- お手入れのとき、器体内部機構に水がかからないようにご注意ください。
- しる受けは、ホーロー品ですのでかたいものをあてたりすると、きずがつく場合がありますので注意してください。

●グリルとびら

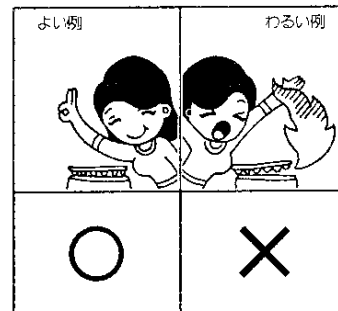
・ガラスに脂などが飛散した場合は、そのつどまだ暖いうちに汚れを落してください。

〈ご注意〉
- ガラスはミガキ砂や金属片、金タワシなどでこすらないでください。印刷がはげたり、キズをつけると割れる原因になります。

ときどき

●バーナー(こんろ用)

・バーナートップを取りはずし、ブラシやキリ状のもので掃除してください。
目づまりなどで悪くなったバーナーは、取り替えていつもきれいな状態で使用してください。
バーナーを目づまりさせたまま使用しますと、不完全燃焼をおこすことがあります。

〈ご注意〉
- バーナートップの水洗いはできるだけさけ、水洗いされた場合は必ず乾いた布で十分水気をとっておいてください。
- バーナートップは左外側は大バーナー、左内側に小バーナーと右に標準バーナーとなっていますので外された場合、間違いのないように取りつけてください。
- バーナートップを取りはずされた場合は正しくセットしてください。(詳しくは8ページ部品の取り付けの項をお読みください)
- バーナー本体の水洗いはやめてください。
中がさびる原因になります。

- 点火操作の火花の出る部分はさわらないでください。取り付け位置が狂いますと点火しなくなります。また火花の出る先端に手をふれたまま器具せんつまみを操作しますと電気ショックを受けますからご注意ください。(ただし人体には害はありません)
- 器具内の配線にはさわらないでください。

・異常の見分け方と処置方法

ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、ただちにご使用を中止して十分な点検をお願いします。

原因＼現象	点火しない・点火しにくい	点火用パイロットが消火しない	着火（火移り）しにくい	爆発的に着火する	黄炎で燃える	炎が安定しない	異常な音をたてて燃える	使用中に消火した・消火しやすい	グリルの放熱体が十分赤熱しない	処置方法	参照ページ
ガス元せんの開け忘れ・開き不十分	○		○	○		○	○		○	器具せんを一旦閉じてからお部屋のガス元せんを全開にする。	12
ゴム管内に空気が残っている	○									ガスが正常に出るまで十分注意しながら点火操作を繰り返す。	12
ゴム管の折れ曲がり・つぶれ	○		○	○		○	○	○	○	ゴム管の折れ・曲がりを直す。	11
点火装置の電極部の汚れ	○			○						汚れを拭きとる。それでも直らないときは点検を依頼する。	／
バーナー炎口づまり・空気口づまり			○	○	○	○	○	○	○	つまりを取り除く。それでも直らないときは点検を依頼する。	19
バーナーの取り付け不良			○	○	○	○	○	○		点検修理を依頼する。	／
バーナートップの取り付け不良			○	○	○	○	○	○		正しく取り付ける。	8
点火操作が適切でない	○									「使用方法（点火）」参照。	12
器具せんつまみが前板に接触		○								点検を依頼する。	／
点火装置のリード線の接続不良	○									点検を依頼する。	／
点火装置の故障	○			○						点検・修理・部品交換を依頼する。	／
器具の銘板と使用ガスが不一致	○		○	○	○	○	○		○	点検修理を依頼する。	2
乾電池が消耗している	○									新品と交換する。	／

処置方法や原因のわからないときは、お買い求めの販売店または大阪ガス支社へご連絡ください。

長期間使用しない場合

- 各部の汚れを取り除き、十分に乾燥したのちほこりなどの異物が入らないようにビニールをかけて、お求めになったときの箱に入れ、湿気やほこりの少ないところへ保管してください。特にガスの通路部分（ホースエンドなど）にはほこりが入って通路をつまらせないように注意してください。

アフターサービスのお申し込み

サービスのお申し込み

- 20ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見てもう一度ご確認ください。
- 確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないでお買い上げの店またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。

(1) 品　名……（テーブルコンロ）
(2) 品　番……左側面に張ってあります。（例）

(N)10-290(U)
大阪ガス株式会社 03

(3) 現　象……（できるだけ詳しく）
(4) 道　順……（できるだけ詳しく）

転居される場合

- ガスには都市ガス14種類およびLPガスの区分があります。ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上、大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社にご相談ください。この場合調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料修理となります。

保証書について

- **この器具には保証書がついています。**
このテーブルコンロは保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。
保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

特　長

1 左こんろバーナーは、保温から中華料理まで幅広い火力が得られる二重バーナー式の強火バーナーです。

2 こんろの器具せんは、よく使用する強火・中火・弱火の位置に「カチッ」という音と軽い手応えで容易に合わせることができます。

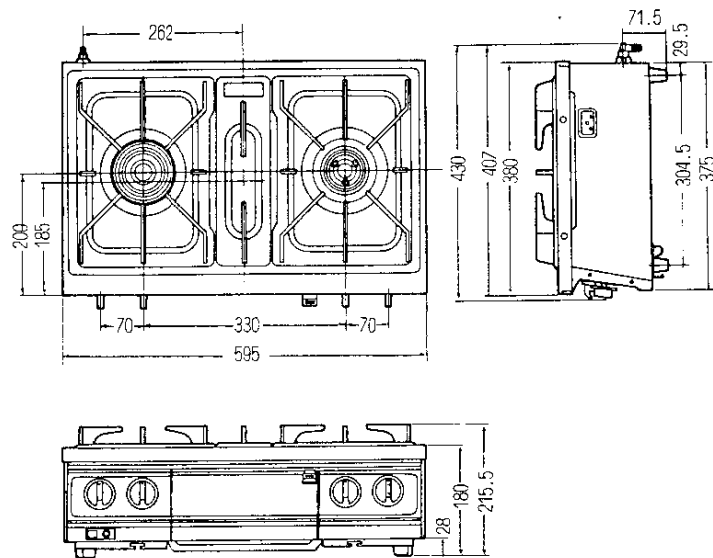
3 グリルバーナーは赤外線バーナーですので、焼物の芯まで美味しく焼くことができます。又、上火式のため煙がほとんど出ません。

4 グリルの器具せんは強火・弱火の二段火力切り替え式ですので、焼物の種類・大きさにより火力調節ができます。

5 点火は、電池による連続放電式点火ですので、点火操作が軽快で確実です。電池の交換時期は電池確認ランプでお知らせします。

6 トッププレートは錆に強く、清潔感のあるステンレス製です。

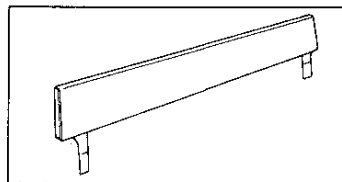
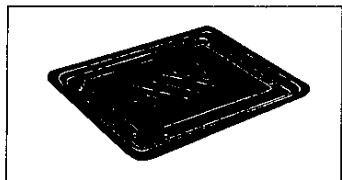
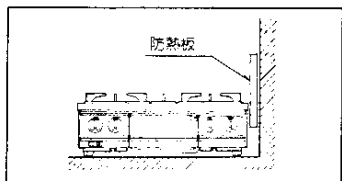
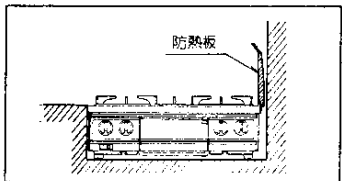
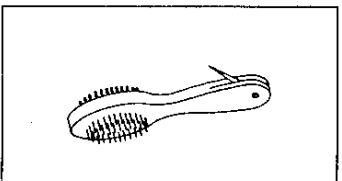
7 ごとくは鍋の安定性、操作性のよいホーロー製の全面ごとくです。

外形寸法図

仕様一覧表

品　名	10-290
型　式　名	RT-3GHD-2E
点　火　方　式	連続放電式点火
外　形　寸　法	高さ180mm(トッププレートまで)×幅595mm×奥行430mm
重　量(本　体)	13.4kg

使用ガス 使用ガスグループ	1時間当たりのガス消費量					ガス接続
	個別ガス消費量				全点火時 ガス消費量	
	左コンロ 大バーナー	左コンロ 小バーナー	右コンロ	グリル		
都市ガス用 6C (kcal/h)	3000	1100	2300	1900	7600	9.5mmφ ガス用 ゴム管
都市ガス用 6A (kcal/h)	2800	1000	2300	1950	7800	
都市ガス用 13A (kcal/h)	3000	1100	2300	1950	8100	
LPガス用 (kg/h)	0.217	0.07	0.176	0.17	0.63	

別売部品のご紹介

次の様な別売部品を用意しています。大阪ガス支社、サービスステーション、サービスショップでお求めください。

● バックガード(4)10-251-0300
• 油の飛散などによる器具後面や後壁の汚れを防止します。
• 本体後面の左右切り込み穴へ、バックガードの突起部を差し込んで固定してください。

● ちり受けざら(4)15-100-0080
• 器具の下、ガス台の上に設置してください。器具の下に落ちた煮こぼれはちり受けざらの上に落ちます。ときどき取り出して掃除していただくと、ガス台を汚さずに使用できます。

● 防熱板(コードNo.：15-100-0084～8)
• 設置場所で、可燃性の壁（ステンレス板等を張りつけた可燃性の壁も含む）から15cm以上離して設置できない場合、図のように取り付けて使用してください。

● 防熱板(コードNo.：15-100-0089)
• 60cm幅のガス台に設置されている場合、器具本体に取付けて使用します。

● 掃除ブラシ(4)94-100
• バーナーが目づまりしたときに掃除していただくと安定した燃焼が得られ、効率よく安心して使っていただけます。

おねがい

ガスくさいときは、お部屋の元せんを閉め、窓を全開にしてから（火気に注意して）、大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。